

公益財団法人  
ケア・インターナショナル ジャパン  
2020年度 (2019年7月～2020年6月)  
年 次 報 告 書

©DANIEL ROMANA/CARE



## ご挨拶

理事長 目賀田周一郎



本事業年度後半には、新型コロナウイルスの予想もつかない規模での感染拡大が生じ、2020年9月現在、感染者数は世界全体で3,000万人を超え、一部の地域では未だに拡大が続いています。日本においても感染終息の目途が立っておらず、私たち自身の生命や健康、生活の問題となっています。しかしながら、比較的に感染拡大が抑制されている我が国と比較して、世界の各地には十分な医療サービスもなく、貧困や災害等による厳しい状況下で感染、或いは感染拡大によりさらに悪化する貧困状況に苦しむ人々がいることを忘れてはなりません。特にそのような地域では、そのしわ寄せが女性の負担増や健康の問題に及んでいることが懸念されます。

私どもも、国内事業や海外プロジェクトが中断する中で、ケア・インターナショナル事務局の呼びかけに応じ、緊急支援事業に取り組んでおります。既にご協力いただいた支援者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

このような状況に対して、世界共通の処方箋が「持続可能な開発目標(SDGs)」であると云えましょう。去る6月にオンラインで開催されたケア・インターナショナルの総会でも、新型コロナウイルス感染に対する支

援策、そしてCAREのネットワークで共有する2030年までの新たなビジョンに関する活発な議論が行われ、改めてSDGsを推進する上で女性や女子に焦点を当て、新型コロナウイルス対策にも取り組むことが確認されました。ジェンダー平等の問題は、貧困、教育、食糧問題、健康、経済活動そして気候変動により生ずる問題にも至るまで深くかかわっており、公正な社会を実現する上で引き続き重点が置かれます。当財団としてもCAREのネットワークの一員としてそのようなビジョンを共有しSDGsの目標達成に貢献する決意を新たにいたしましたところであります。

また、そのためには一層の体制の強化と事業活動の充実が必要と考えております。お陰様で、2019年11月、鹿児島に新たに支援団体が設立され、地方を含めて個人会員および法人会員も増加傾向にあります。今後、新たな海外プロジェクトの準備を進め、CAREについての理解の促進を図り、更に新たな支援者、支援企業、支援団体が支援の輪に参加していただけるよう努力して参る所存です。

皆さまには、これまでに賜りましたご支援に心より感謝申し上げますとともに、活動の拡充に向けて引き続きのご指導ご鞭撻、そしてご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2020年度事業報告

### 開発支援事業

#### 継続事業

#### 東ティモール

学習雑誌『ラファエック』を通じた農村地域の自立支援事業

P4

#### 新規事業

#### 東ティモール

農業用水改善事業

P5

#### 継続事業

#### タイ

理数系(STEM)教育を通じたリーダーシップ育成事業

P6

### 緊急・復興支援事業

#### 新規事業

#### 新型コロナウイルス感染症緊急支援事業

P7

## A WORLD OF CARE

### CARE INTERNATIONAL COUNTRY PRESENCE FOR FY19

- |                           |                                      |                  |                 |                   |                      |                                |                   |
|---------------------------|--------------------------------------|------------------|-----------------|-------------------|----------------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. Afghanistan            | 14. Cameroon                         | 27. Egypt**      | 41. Indonesia** | 55. Mali          | 69. Papua New Guinea | 83. Switzerland                | 96. Vietnam       |
| 2. Albania✓               | 15. Canada**                         | 28. El Salvador✓ | 42. Iraq        | 56. Mexico✓       | 70. Peru**           | 84. Syria                      | 97. West Bank & G |
| 3. Australia**            | 16. Chad                             | 29. Ethiopia✓    | 43. Italy✓      | 57. Montenegro✓   | 71. Philippines      | 85. Tanzania                   | 98. Yemen         |
| 4. Austria**              | 17. Colombia✓                        | 30. Fiji✓        | 44. Japan**     | 58. Morocco**     | 72. Romania✓         | 86. Thailand**                 | 99. Zambia        |
| 5. Bangladesh             | 18. Costa Rica✓                      | 31. France**     | 45. Jordan      | 59. Mozambique    | 73. Rwanda           | 87. Timor-Leste                | 100. Zimbabwe     |
| 6. Belgium✓               | 19. Côte d'Ivoire                    | 32. Georgia      | 46. Kenya       | 60. Myanmar       | 74. Senegal✓         | 88. Togo✓                      |                   |
| 7. Benin                  | 20. Croatia                          | 33. Germany**    | 47. Kosovo      | 61. Nepal         | 75. Serbia           | 89. Tonga✓                     |                   |
| 8. Bolivia✓               | 21. Cuba                             | 34. Ghana        | 48. Laos        | 62. Netherlands** | 76. Sierra Leone     | 90. Turkey                     |                   |
| 9. Bosnia and Herzegovina | 22. Czech Republic                   | 35. Greece✓      | 49. Lebanon     | 63. Nicaragua✓    | 77. Solomon Islands✓ | 91. Uganda                     |                   |
| 10. Brazil✓               | 23. Democratic Republic of the Congo | 36. Guatemala    | 50. Liberia✓    | 64. Niger         | 78. Somalia          | 92. United Kingdom**           |                   |
| 11. Burkina Faso✓         | 24. Denmark**                        | 37. Guinea✓      | 51. Luxembourg  | 65. Nigeria       | 79. South Africa✓    | 93. United States of America** |                   |
| 12. Burundi               | 25. Dominican Republic✓              | 38. Haiti        | 52. Macedonia✓  | 66. Norway**      | 80. South Sudan      | 94. Vanuatu                    |                   |
| 13. Cambodia              | 26. Ecuador                          | 39. Honduras     | 53. Madagascar  | 67. Pakistan      | 81. Sri Lanka**      | 95. Venezuela✓                 |                   |
|                           |                                      | 40. India**      | 54. Malawi      | 68. Panama✓       | 82. Sudan            |                                |                   |

2020年度は、「長期ビジョン2020」の最終年次となり、今までの支援の実効性や組織運営を振り返ると同時に、CARE全体で2030年に向けて新たな中長期ビジョンを策定する節目の年となりました。

今春から世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大し、CAREも多くの支援事業の中断を余儀なくされる中で、組織として緊急事態を宣言し、新型コロナウイルス感染症に対する地球レベルでの緊急支援を最優先として取り組み始めました。日本でも事務所の一時閉鎖やイベントの中止、在宅勤務の継続奨励等の影響が出ておりますが、同時に、国内が大変な状況にありながらも海外への有り難い支援を多くの皆さまから頂戴し、本当に大きな力を賜りました。おかげさまで個人支援者の拡大や、企業からの支援の広がりも順調であり、2021年の東京マラソンの寄付先団体に選定されたことも合わせ、今後のさらなる発展につなげていく所存です。

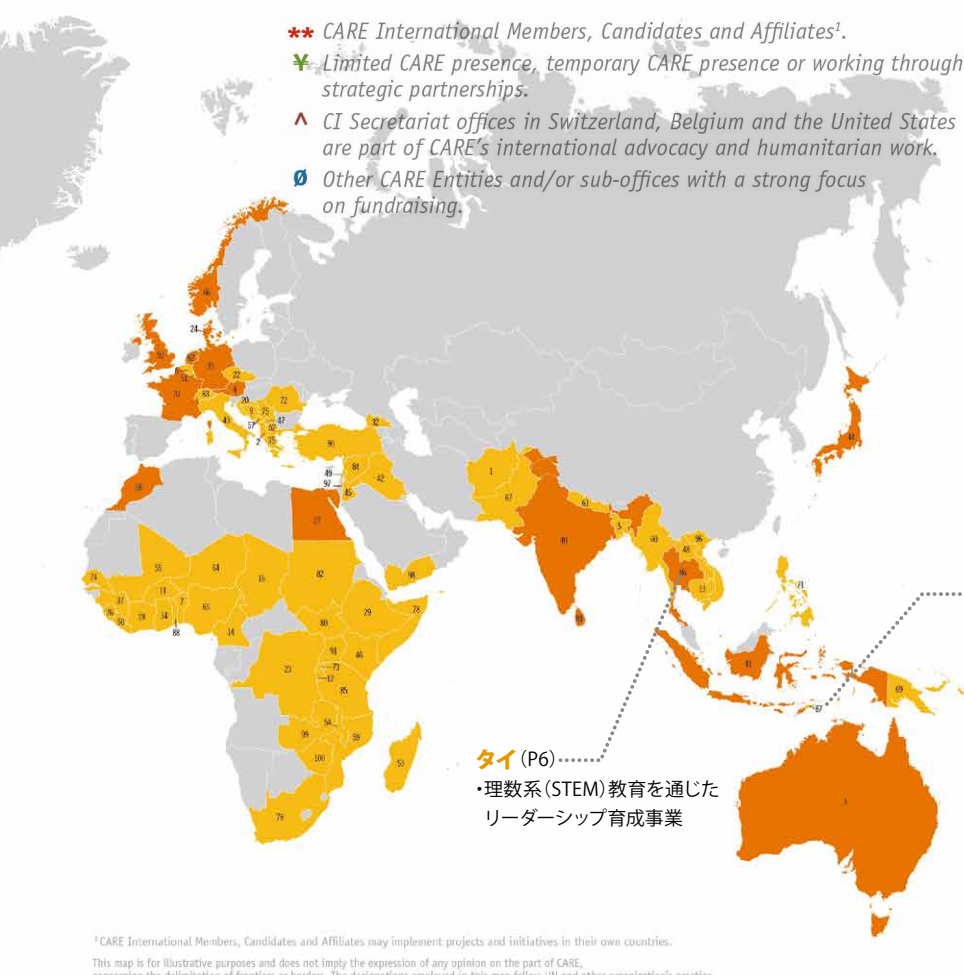
国際協力事業については、3件の開発支援事業をタイおよび東ティモールで実施するとともに、新型コロナウイルス感染症に対しての緊急支援事業を実施してきました。そのうち、東ティモールのエルメラ県アッサベ郡での「農業用水改善事業」は、外務省からの助成によ

る新規事業となります。

啓発普及事業については、歩く国際協力「Walk in Her Shoes」の展開にあたり、新型コロナウイルスへの感染拡大防止の観点から、初めてオンラインのみでの実施に至りましたが、個人やガールスカウトの皆さまに加えて、企業の社員の皆さまなど、過去最多のご参加をいただきました。

また2020年6月に、ケア・インターナショナルの事務総長には新しくソフィア・スプレッチマンが就任し、元事業統括の経験を活かしながら途上国に必要とされる支援を引き続き届けていく新体制となったことをご報告いたします。

戦後の困難な時代に活動を始めたCAREは現在、重要な岐路に立たされていると感じます。人との物理的な距離を保つような各国の政策は、CAREの支援者に寄り添う姿勢とは相入れませんが、だからこそ、人が人を想う気持ちがさらに重要となると考えます。皆さまの温かいお気持ちをしっかりと事業や支援の形にしていけることが今まで以上に必要とされていると信じて、CAREは、これからも国際協力活動を続けて参る所存です。今後とも皆さまのご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



## Contents

- 02…ご挨拶と年度総括
- 03…A World of CARE (世界地図で見る事業地)
- 04…2020年度 事業報告
- 08…数字で見るCARE (ケア・インターナショナル) の1年
- 09…数字で見るケア・インターナショナル ジャパン 国内活動の1年
- 10…CARE支援組織 活動報告
- 11…CARE支援の輪
- 12…2020年度 会計報告
- 14…役員等
- 15…法人会員

### CARE International Secretariat:

- Geneva, Switzerland<sup>▲</sup>
- Brussels, Belgium<sup>▲</sup>
- New York, United States<sup>▲</sup>

### Other CARE Entities:

- Belgium<sup>①</sup> (Fundraising Office of CARE France)
- Czech Republic<sup>①</sup>
- Luxembourg<sup>①</sup>



## 継続事業 東ティモール

## 学習雑誌『ラファエック』を通じた農村地域の自立支援事業

— アジアで一番新しい国の農村部の人たちに生きるチカラを届ける —



活動地域：東ティモール全13県

事業期間：2014年6月～2022年6月（8年間）

事業規模：当年度支出額954千円（総事業予算：年間約1.5億円 \*他ドナー資金を含む）

主な支援者：ニュージーランド政府、個人

315,106部

年3回配布した  
成人向け「ラファエック」の総数

1,579校

未就学・低学年向け  
「ラファエック」を配布した学校数

9,000人

教員向け  
「ラファエック」を受け取った教員数

©Josh Estey/CARE

## 課題

アジアで一番新しい国である東ティモールは、国民の約4割が1日1.25ドル以下で暮らすアジア最貧国の一つ。貧困層の85%は農村部に暮らし、農村部と都市部の経済・教育格差が顕著となっています。教育言語であるポルトガル語の成人識字率は都市部で約40%である一方、農村部では約18%と圧倒的に低くなっています。農村部では十分な識字能力や計算能力を身に付けることができないため、経済活動や家計の管理に支障をきたし、親の識字能力の低さが子どもの栄養・健康状態、そして就学率にも悪影響となって現れています。

## 活動内容

本年度も、成人向け、未就学・低学年向け、中学年向け、教員向けの4種を全13県で年3回配布しました。3月下旬に緊急事態宣言が発出された後は、国内移動が制限されたため事業地での活動を一時中断。配布計画が遅延しました。一方、新型コロナウイルス感染症対策として、Facebookを使った予防啓発（20秒間の手洗い励行やソーシャル・ディスタンスの）メッセージの発信等、遠隔で可能な情報発信に注力しました。また、手洗い励行ポスターを制作し、移動可能な範囲で、保健省を通じておよそ60の集落に配布する等、「ラファエック」の配布網を活用して新型コロナウイルス感染予防活動を進めました。リモートでもできる活動を進める一方、地方ではインターネットの環境が十分に整備されていないことから、さらなる情報格差や支援活動の遅れが生じないように配慮と工夫が求められています。

## 受益者の声



## ナジオさん

子ども向け「ラファエック」が届くのを毎回楽しみにしている9歳のナジオさん。「ラファエック」で算数を学んだり、楽しいイラストを眺めたりすることが大好きで、物語は何回も何回も読み返すといいます。「将来は先生になって、子どもたちの勉強を助けたいです」と語ってくれました。

## 新規事業 東ティモール

## 農業用水改善事業

— 地球にも女性にもやさしい点滴灌漑を使って、貧困削減と女性のエンパワメントを目指す —



ケア・インターナショナル ジャパンは、2030年に向けて世界が合意した SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて取り組んでいます。



活動地域：エルメラ県アッサベ郡の4村内11集落

事業期間：2020年3月31日～2023年8月31日（3年5か月間）\*うち、3月31日～10月31日の約7か月間は中断期間

事業規模：当年度支出額561千円（総事業規模：約144,000千円）

主な支援者：外務省、支援組織、個人

12 グループ  
農民グループの数

2,330人  
対象となる11集落内の農民の数



©Tom Greenwood/CARE

## 課題

活動地のエルメラ県アッサベ郡では、多くの人々が零細農業を営んでいますが、農業生産性は低く、生業状況は脆弱なため、貧困度の高い地域となっています。背景には、気候変動に伴う天候不順等、様々な要因がありますが、乾季の水不足も農業を妨げる大きな要因です。雨季の天水に頼った穀物の生産だけでなく、農業を多様化し、年間を通じ作物が収穫できる環境への改善が求められています。そのためには、農業用水設備の整備を進め、乾季の水不足を解決することが重要です。また、膨大な労力を必要とする水汲みと農作物への水やりは女性農民が主に担っています。貯水タンクや点滴灌漑設備などを設置することで、安定的な農作物の収穫が期待でき、さらに水汲みおよび水やりにかかる労働から女性農民を解放することが可能となります。

## 活動内容

本年度の活動実績は、次の理由により、ありません。事業開始にあたり、日本人駐在員を4月中に東ティモールに派遣する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大する時期と重なり、同国では、外国人の原則入国禁止措置と国際線フライトの制限措置がとられたため、駐在員の派遣が叶いませんでした。駐在員不在の中、現地職員の採用を先に進め現地職員のみで移動制限等の制約を受けながら感染予防措置をとり、活動を開始することは、事業管理の面から適切ではないと判断し、1年次で予定している活動は全て実施を見送りました。2020年10月には、東京事務所での派遣前研修を実施後、東ティモールに駐在員を派遣し、11月に事業を開始する予定です。

## 受益者の声



## パウリーナさん

二人の息子の母親、農民グループのリーダー、村の女性グループのリーダーと3役をこなすパウリーナさん。先行事業の「農村地域の生計向上事業」を通じて、財務研修を受けました。「農業での売り上げの半分を将来の農業に投資し、残りの半分を私生活への投資に回すと教わりました。最近、息子が学校で使う筆記用具やコーヒーを買うことができたほか、やっと自分用の携帯電話を買うことができてうれしかった」といいます。「さらなる農業の拡大には、水不足がネックになっています。より効率的に多くの水を運ぶことができるようになれば、作物の栽培量を増やすことができる」とこの事業に期待を寄せています。



# 継続事業 タイ 理数系(STEM\*)教育を通じたリーダーシップ育成事業(第1期・第2期)

— 企業と連携して、子どもたちの学業および職業機会を拡げる —



活動地域: アユタヤ県、ラヨーン県およびサムットプラカーン県  
事業期間: 第1期2017年4月～2020年3月(3年間)、第2期2020年4月～2023年3月(3年間)  
事業規模: 当年度支出額5,190千円(総事業規模30,000千円)  
主な支援者: 日産自動車株式会社

\*「STEM(ステム)」とは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字をとった言葉。

## 2,492人

青少年を対象とした各種研修に参加した  
生徒の延べ人数(うち女子生徒1,387人)

## 102グループ

校内で発足した小規模ビジネスのグループの数

## 32人

研修を受けた教員の数



### 課題

タイ政府は、今後の経済社会の発展に向けて産業人材の育成を課題とし、特に、高校進学において職業教育課程に進む生徒数の増加を促進するとともに、中学・高校における職業活動を積極的に推進しています。一方、多くの学校では、十分な予算がなく、職業活動に関する知識や技術を有する教師も不足していることから、これらの実現が困難な状況です。とりわけ、カンボジア等からの移民の子どもたちの学習環境は厳しく、中学・高校を卒業した後の職業選択も非常に限定され、貧困に陥りやすいことが指摘されています。中学・高校在学中に、社会人として必要なリーダーシップやマーケティングスキル、そしてライフスキルなどを身につける機会が求められています。

### 活動内容

本年3月に第1期を終了。生徒たちは単に職業技術を身に着けるに留まらず、グループでの起業体験活動において、各々の役割と意見交換の重要性を認識するようになり、自信の醸成にも繋がりました。また、生徒は性別に関係なくリーダーシップを発揮できるという認識をさらに深めることができました。一方、教師の異動により、活動を通じて得られた知識や技術が学校に定着しづらいという課題を解決すべく、教師用マニュアルを制作したことにより、事業の持続性が高まりました。第2期は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、6月末までタイ全土で学校が閉鎖されたため、新規支援対象校の選定とベースライン調査の準備等を進めた一方、その他の活動の多くを7月以降に持ち越しました。今後は、教師の指導能力の向上やネットワーク強化を図り、生徒に対しては、ジェンダー平等の促進、STEMの視点の強化を行うとともに、日産自動車タイランド社員を積極的に巻き込みつつ、職業的な専門性を活かした様々な研修やワークショップを行っていきます。

### 受益者の声



#### ボウさん

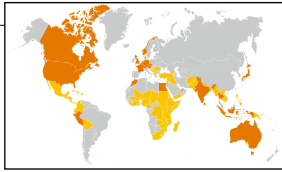
アユタヤ県の高校に通うボウさんは、テラリウム\*を活用した商品を開発する起業体験活動に参加しています。「この活動に参加することは楽しいです。問題を解決する方法や実践的なビジネススキルを身に着けることができるからです。この活動に参加することで、お家でも学校でも両方でごんばろうと思うようになりました」と笑顔で語ってくれました。

\*テラリウムとは、ガラスなど光が通る密閉された透明なケースの中で、陸上の生き物を育てる方法のこと。

## 新規事業

## 新型コロナウイルス感染症緊急支援事業

— 医療・介護従事者や難民など感染リスクの高い人々と社会的に弱い立場におかれた人々の命を守る —



活動地域: 全世界

事業期間: 2020年5月～2021年6月(1年2か月)

事業規模: 5,498千円(総事業費: 1億ドル \* 2020年12月までの資金調達目標額)

主な支援者: 支援組織、個人

67 か国

活動を実施した国の数

16,000,000人

直接支援を受けた人の数

1,400,000人

性と生殖に関する保健サービスの  
提供を受けた人の数

## 課題

新型コロナウイルスとの闘いを続けている世界は、公衆衛生の状況が劣悪で医療システムが脆弱な途上国や紛争地域への感染拡大を抑え込むという大きな課題と対峙しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響は男女によって差があります。全世界的に家庭で病人など無償のケアを担うのは76.2%が女性。また、医療施設では、介護者や看護者の約7割を女性が占め、防護措置も不十分な中、医療の最前線に立つ女性の感染リスクが懸念されています。さらに、感染者の隔離や経済的な苦境におかれた世帯ではストレスが高まり、その結果、家庭内暴力や性的搾取が増加する傾向があります。

## 活動内容

ケア・インターナショナルとしてのグローバルな連携と連帯のもと、本事業を優先し、公衆衛生の啓発、安全な水の供給、食糧配布、医療の最前線で働く女性へのサポートなどの活動を行いました。具体的には、確実な感染予防につなげるため、石けんや洗剤を配布するとともに、正しい手洗いや洗濯方法を実演し、ウイルスやその予防方法等に関する正確な情報を発信しました。安全な水、衛生用品、食糧、生活必需品に加え、現金や商品引換券の配布も行いました。さらに、医療の最前線で働く女性へのサポートとして、介護を担う女性の柔軟な働き方の促進、女性の身心に配慮した物品(生理用品等の衛生用品)の提供、女性を対象とした公衆衛生に関するメッセージの発信、女性に必要な(性と生殖に関する)保健サービスの提供、性差に基づく暴力の予防と対応に関するサービスの提供を行いました。

## 受益者の声



## ロザリンさん

コロナ渦のシエラレオネで、新型コロナウイルス感染症の対応にあたっているロザリンさんは、CAREのヘルス・ボランティアとして経験を積み、看護師になりました。エボラ出血熱の際も最前線で対応にあたりました。2児の母でもあるロザリンさんは、「貧しい家庭に育ち、叔父の支援で学校に通い、CAREのヘルス・ボランティアとして働きながら、看護学校に通いました。今は地元に戻り、地域に恩返しをしています」と語ってくれました。CAREの新型コロナウイルス感染症緊急支援は、ロザリンさんのような最前線で働く医療従事者によって支えられています。



86

支援国の数(国)

1,036

実施プロジェクトの数(事業)

68,653,115

直接受益者数(人)  
(うち73%は女性)

401,265,320

間接受益者数(人)  
(うち46%は女性)

直接受益者の数トップ10(数字は人数)

|    |          |            |
|----|----------|------------|
| 1  | インド      | 37,206,994 |
| 2  | バングラデシュ  | 6,358,373  |
| 3  | イエメン     | 3,337,502  |
| 4  | ガーナ      | 3,041,257  |
| 5  | ソマリア     | 2,033,377  |
| 6  | コンゴ民主共和国 | 1,531,050  |
| 7  | エチオピア    | 1,383,161  |
| 8  | マリ       | 1,348,885  |
| 9  | シリア      | 1,230,229  |
| 10 | ケニア      | 1,046,083  |



事業別直接受益者の数(数字は人数)



人道支援

12,867,634



暴力のない暮らしの権利

2,566,905

性と生殖の健康と権利



35,405,794



食の安全保障と気候変動対策

20,303,445



女性の経済的エンパワメント

2,322,692



# 数字で見る ケア・インターナショナル ジャパン国内活動の一年



当財団の職員数  
(海外駐在員を含む)

8人

新聞掲載及び  
テレビ放映等の  
合計報道実績件数

15件

Facebook のファン数

3,679人

個人による延べ寄付件数

3,641件

当財団ホームページへの  
アクセスページ数

257,504ページビュー (PV)



ボランティア登録者数

488人

歩く国際協力

「Walk in Her Shoes 2020」参加者数

746人

企業による延べ寄付件数

52件

「あつめて国際協力」への  
支援総額 (法人・団体・個人)

1,147,861円



イベント参加者数 / 回数 (講師派遣を含む)

276人 / 7回



物品・サービス提供による支援の寄付相当額

190,560円

個人定期支援者数

307人

インターン  
受入数

11人

CARE 支援組織の会員数

641人/社

プロボノによる  
延べ協力件数

25件



©中日新聞提供



# CARE 支援組織 活動紹介

全国から届いたレポートを  
紹介します

## ケア・フレンズ 岡山



落語会・バザー (2019年11月6日)

地元岡山出身で東大経済学部卒という経歴の持主である春風亭昇吉様(春風亭昇太師匠の弟子)をお招きして、秋晴れの落語会を開催しました。初めての地元デビューで、お客さまの期待を一身に集め、若々しい語り口で楽しませてくれました。

## ケア・フレンズ 東京



バザーのための手芸活動 (2019年10月8日)

布花クリエイターの橋本麗花様を講師にお迎えして、コサージュ制作のご指導をいただきました。花芯と花弁をハサミで切り、ボンドを使うなど、とても神経を使う細かな手作業でしたが、丁寧に指導いただき、素敵なコサージュができあがりました。

## ケア・サポーターズクラブ 大分



総会・講演会・ガーデンパーティ (2019年10月27日)

緑に囲まれた新知事公舎で、総会を開催後、国際的に活躍されているCARE理事の田中由美子先生の講演会を行いました。その後、多くの会員の皆さまのご出席のもと、庭園でのガーデンパーティも行い、特別なイベントを満喫いただきました。

## ケア・サポーターズクラブ 熊本



会員親睦バスツアー (2019年11月12日)

会員の親睦を図るため、大分へのバス旅行を開催しました。爽やかな秋晴れの下豆田町散策と、欧風会席ランチを楽しみました。新しく2名の方が会員になられ、CAREの輪が広がるととても良い交流の機会となりました。

## ケア・フレンズ 長野



10周年記念式典とコンサート (2019年9月19日)

CARE支援組織の皆さまを全国からお招きして、ケア・フレンズ長野10周年の記念式典を開催。式典の後は、世界の喜多郎氏のシンセサイザーのコンサートと、イタリアンでの交流会を堪能しました。周年記念誌も参加者全員にお配りしました。

## ケア・サポーターズクラブ 千葉



千葉市長に災害救援金 (2019年12月)

9月から10月にかけて千葉県に上陸した猛烈な台風15号と19号の襲来で、会員の家が被災。特に、房総南部は大惨事となりました。全国の支援組織から温かいご寄付が集まり、県および千葉市における災害救援のために活用いただきました。

## ケア・サポーターズクラブ 佐賀



チャリティ講演会・バザー (2019年11月3日)

九州国際重粒子線がん治療センター理事長の中川原章様をお招きして、「WTO小児がん宣言：不平等との闘い！」と題した講演会を開催。10代のミュージカル劇団「ティーンズミュージカルSAGA」による公演やバザーも行いました。

## ケア・サポーターズクラブ 鹿児島



設立総会・設立懇親会 (2019年11月9日)

設立総会にて、CARE名誉会長の柳井俊二様より、設立許可書を授与いただきました。また、株式会社島津興行 代表取締役社長 島津忠裕様、鹿児島市副市長 松永範芳様からのご祝辞をいただきました。その後、設立懇親会を行いました。



# CARE支援の輪

様々な形で活動を支援して下さっている方々を紹介します

## 歩く国際協力「Walk in Her Shoes」

途上国の女性や女子が毎日水汲みなどのために歩く8,000歩を体験する「チャリティウォーク」。9年目を迎えた本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初めてオンラインのみの開催となりましたが、個人やガールスカウトの皆さまに加えて、企業の社員の皆さまなど、過去最多のご参加をいただきました。

### ●参加者の声

私が歩いた歩数をお金に替えると、600円程度ですが、とても貴重な経験ができました。寄付や募金だと助けになっている実感があまりありませんが、こうして歩くことで、少しでも誰かの力になっていると感じることができました。



## あつめて国際協力

使用済み切手や読まなくなった本などを集めて、換金し、国際協力活動につなげる取り組みを行っています。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、物品の受取を一時中断しましたが、感染拡大前には、事務局での物品の仕分け作業に多くのボランティアの皆さまにご協力いただきました。現在は、感染拡大防止策を講じつつ、物品の受取を再開しています。

### ●大和ハウス工業株式会社 社員ボランティアの皆さま

2020年2月、約30名の社員の方々が、2日に分けてご来局。全国から集まった古切手の仕分けや郵便物の発送作業をお手伝いいただきました。大和ハウス工業株式会社では、半年に1回程度、部署単位で、社員全員がボランティア活動を行っております。



## ボランティア

CAREの活動は、事務局でのお手伝いのほか、翻訳やデザインなど、様々なボランティアやプロボノの皆さまによって支えられています。本年度は、事務局での物品の仕分けや発送作業、またチャリティバザーでのお手伝いなどのボランティア活動に加えて、日英の翻訳、各種刊行物のデザイン、IT関連、動画編集など専門性を活かしたプロボノ活動を通じて、延べ58名の皆さまから様々な形で支えていただきました。

### ●動画編集ボランティアさんの声

新型コロナウイルスの影響により、世界各地での格差がより広がっているにもかかわらず、物資・医療・人材といった支援が滞ってしまうこの現状に、ずっともやもやしておりました。自分にもお手伝いできることがあり、嬉しいです！



## クラウドファンディング

本年度は2つのクラウドファンディングに挑戦。1つ目は、東ティモールの人々に現地語で必要な情報を届けるための資金。残念ながら目標額には達しませんでした。34名の皆さまから応援いただきました。2つ目は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、さらに弱い立場におかれた難民の女性たちを支援するための資金。85人の皆さまから目標額を上回る1,071,715円のご支援をいただきました。

### ●応援メッセージ

- ・どこの国の方でも、人が考えたり感じたりすることは、全て言葉です。そんな言葉の能力を高める取り組みに、とても共感します！頑張ってください。
- ・ただでさえ厳しい生活を強いられている難民の人々は、新型コロナウイルスへの感染拡大に怯え、混乱していると思います。そのような人々のもとに一刻も早く支援の手が届き、一人でも多くの命が救われることを願います。

東ティモールの人々に、現地語で必要な情報を届けたい！

サブ・インターナショナル・ジャパン 協賛

目標金額 260,000円

達成率 100%

2019年12月24日

34人 応援しました

目標額は達成しました！

【新型コロナ緊急支援】難民キャンプの女性に、命を守る石けんや食糧、医療支援を！

1,071,715円

88人

終了

# 2020年度 会計報告

## 正味財産増減計算書 (2019年7月1日～2020年6月30日) 【単位:円】

| 科 目                  | 当年度               | 前年度                | 増 減                 |
|----------------------|-------------------|--------------------|---------------------|
| <b>I 一般正味財産増減の部</b>  |                   |                    |                     |
| 1. 経常収益              |                   |                    |                     |
| 基本財産・特定資産運用益         | 1,075,000         | 1,250,000          | △ 175,000           |
| 受取会費                 | 19,967,800        | 19,006,000         | 961,800             |
| 事業収益                 | 1,200,751         | 49,098,921         | △ 47,898,170        |
| 受取民間助成金              | 147,700           | 852,300            | △ 704,600           |
| 受取寄付金                | 32,835,891        | 41,813,354         | △ 8,977,463         |
| 雑収益                  | 2,233,745         | 2,700,424          | △ 466,679           |
| <b>経常収益計</b>         | <b>57,460,887</b> | <b>114,720,999</b> | <b>△ 57,260,112</b> |
| 2. 経常費用              |                   |                    |                     |
| 国際協力事業費              | 25,977,108        | 78,788,101         | △ 52,810,993        |
| 普及啓発事業費              | 22,624,146        | 23,232,795         | △ 608,649           |
| 管理費                  | 8,735,504         | 10,220,519         | △ 1,485,015         |
| <b>経常費用計</b>         | <b>57,336,758</b> | <b>112,241,415</b> | <b>△ 54,904,657</b> |
| 評価損益                 |                   |                    |                     |
| 基本財産・特定資産評価損益等       | 282,550           | 629,975            | △ 347,425           |
| 投資有価証券評価損益等          | 70,672            | △ 239,760          | 310,432             |
| 評価損益等計               | 353,222           | 390,215            | △ 36,993            |
| <b>当期経常増減額</b>       | <b>477,351</b>    | <b>2,869,799</b>   | <b>△ 2,392,448</b>  |
| 3. 経常外収益             |                   |                    |                     |
| 経常外収益計               | 0                 | 0                  | 0                   |
| 経常外費用計               | 0                 | 0                  | 0                   |
| 当期経常外増減額             | 0                 | 0                  | 0                   |
| 当期一般正味財産増減額          | 477,351           | 2,869,799          | △ 2,392,448         |
| 一般正味財産期首残高           | 45,657,675        | 42,787,876         | 2,869,799           |
| <b>一般正味財産期末残高</b>    | <b>46,135,026</b> | <b>45,657,675</b>  | <b>477,351</b>      |
| <b>II 指定正味財産増減の部</b> |                   |                    |                     |
| 受取民間助成金              | 0                 | 1,000,000          | △ 1,000,000         |
| 受取寄付金                | 20,252,308        | 25,935,174         | △ 5,682,866         |
| 一般正味財産への振替額          | △ 19,552,080      | △ 32,484,583       | 12,932,503          |
| 当期指定正味財産増減額          | 700,228           | △ 5,549,409        | 6,249,637           |
| 指定正味財産期首残高           | 13,611,682        | 19,161,091         | △ 5,549,409         |
| <b>指定正味財産期末残高</b>    | <b>14,311,910</b> | <b>13,611,682</b>  | <b>700,228</b>      |
| <b>III 正味財産期末残高</b>  | <b>60,446,936</b> | <b>59,269,357</b>  | <b>1,177,579</b>    |

## 貸借対照表 (2020年6月30日現在) 【単位:円】

| 科 目               | 当年度                | 前年度               | 増 減               |
|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|
| <b>I 資産の部</b>     |                    |                   |                   |
| 1. 流動資産           |                    |                   |                   |
| 現金預金              | 36,194,538         | 22,238,898        | 13,955,640        |
| 前払事業費用            | 19,455,664         | 1,378,222         | 18,077,442        |
| 未収金               | 3,586,224          | 1,683,146         | 1,903,078         |
| 貯蔵品               | 481,909            | 394,799           | 87,110            |
| 前払費用・前払金・その他      | 550,279            | 509,510           | 40,769            |
| 流動資産合計            | 60,268,614         | 26,204,575        | 34,064,039        |
| 2. 固定資産           |                    |                   |                   |
| 基本財産              | 27,934,650         | 27,652,100        | 282,550           |
| 特定資産              | 14,311,910         | 13,611,682        | 700,228           |
| その他固定資産           | 6,298,382          | 5,850,429         | 447,953           |
| 固定資産合計            | 48,544,942         | 47,114,211        | 1,430,731         |
| <b>資産合計</b>       | <b>108,813,556</b> | <b>73,318,786</b> | <b>35,494,770</b> |
| <b>II 負債の部</b>    |                    |                   |                   |
| 1. 流動負債           |                    |                   |                   |
| 前受事業収益            | 33,816,674         | 2,971,366         | 30,845,308        |
| 未払金               | 11,835,505         | 6,558,454         | 5,277,051         |
| 前受会費              | 0                  | 1,620,000         | △ 1,620,000       |
| 預り金               | 100,941            | 491,359           | △ 390,418         |
| 流動負債合計            | 45,753,120         | 11,641,179        | 34,111,941        |
| 2. 固定負債           |                    |                   |                   |
| 退職給付引当金           | 2,613,500          | 2,408,250         | 205,250           |
| 固定負債合計            | 2,613,500          | 2,408,250         | 205,250           |
| <b>負債合計</b>       | <b>48,366,620</b>  | <b>14,049,429</b> | <b>34,317,191</b> |
| <b>III 正味財産の部</b> |                    |                   |                   |
| 1. 指定正味財産         | 14,311,910         | 13,611,682        | 700,228           |
| 2. 一般正味財産         | 46,135,026         | 45,657,675        | 477,351           |
| <b>正味財産合計</b>     | <b>60,446,936</b>  | <b>59,269,357</b> | <b>1,177,579</b>  |
| <b>負債及び正味財産合計</b> | <b>108,813,556</b> | <b>73,318,786</b> | <b>35,494,770</b> |





# 役員等

(2020年6月30日現在)

|                         |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名誉会長                    | 柳井 俊二                                                                               | 国際海洋法裁判所 判事                                                                                                                                                                                                                                              |
| 顧問                      | 稲川 素子<br>小泉 淑子<br>紘田 英哉<br>山東 昭子<br>日枝 久                                            | 株式会社稲川素子事務所 代表<br>弁護士 シティユーワ法律事務所<br>アークヒルズクラブ 専務理事<br>参議院議長、元科学技術庁長官<br>株式会社フジテレビジョン 取締役相談役                                                                                                                                                             |
| 代表理事(理事長)<br>代表理事(副理事長) | 目賀田 周一郎<br>黒川 千万喜                                                                   | 中央大学法学部 教授、元メキシコ駐劄特命全権大使<br>元公益社団法人トヨタ財団 常務理事                                                                                                                                                                                                            |
| 理事                      | 岩動 達<br>岩田 喜美枝<br>上野 宏<br>小島 明<br>田中 由美子                                            | 株式会社ペンタインターナショナル 代表取締役<br>東京都監査委員<br>株式会社村田製作所 取締役監査等委員、元大阪国税局長<br>公益社団法人日本経済研究センター 参与<br>城西国際大学 招聘教授、元JICA国際協力専門員(ジェンダーと開発)                                                                                                                             |
| 監事                      | 荒牧 知子<br>野々山 徹                                                                      | 公認会計士・税理士 荒牧公認会計士事務所<br>元株式会社富士銀行 常務取締役                                                                                                                                                                                                                  |
| 評議員                     | 安倍 洋子<br>加藤 睦子<br>河野 洋子<br>近藤 茂夫<br>今野 秀洋<br>篠沢 恭助<br>高橋 衛<br>田中 皓<br>平林 博<br>渡邊 美佐 | ケア・フレンズ東京 会長<br>ケア・フレンズ岡山 名誉会長<br>カランマス・セジャトラ社 取締役<br>三菱重工業株式会社 総務法務部顧問<br>一般財団法人貿易・産業協力振興財団 理事長<br>公益財団法人資本市場研究会 理事長、元大蔵事務次官<br>ドイツ証券株式会社 コンサルタント、株式会社パレスホテル 顧問<br>公益財団法人助成財団センター 代表理事・専務理事<br>公益財団法人日印協会 代表理事・理事長、元駐インド及び駐フランス大使<br>株式会社渡辺プロダクション 名誉会長 |



# 法人会員

**Asahi**

**えがお**  
株式会社 えがおホールディングス

**CUSTOM VIFE**

**AYANA**

**sarasva**  
Hydrogen Water

**SEGA Sammy**

**ANA**  
Inspiration of JAPAN

**大成建設**  
TAISEI  
For a Lively World

**第一生命ホールディングス**

**大和証券グループ本社**  
Daiwa Securities Group Inc.

**TORAY**

**NISSAN**  
MOTOR CORPORATION

**NIPPON STEEL**

**NTT Group**

**MENARD**  
JAPAN, SINCE 1959

**HITACHI**  
Inspire the Next

**APEX**

**フジテレビジョン**

**MS&AD**  
三井住友海上

**mitsui & co.**

**三菱重工**

**三菱商事**

**MIMASU**

**yamano**

**LOTTE**  
お口の恋人

**WATANABE**

アサヒグループホールディングス株式会社  
株式会社えがおホールディングス  
株式会社カスタムライフ  
カランマス・セジャトラ社  
株式会社サラスバ  
セガサミーホールディングス株式会社  
全日本空輸株式会社  
大成建設株式会社  
第一生命ホールディングス株式会社

株式会社大和証券グループ本社  
東レ株式会社  
日産自動車株式会社  
日本製鉄株式会社  
日本電信電話株式会社  
日本メナード化粧品株式会社  
株式会社日立製作所  
株式会社ビデオエイペックス  
株式会社フジテレビジョン

三井住友海上火災保険株式会社  
三井物産株式会社  
三菱重工工業株式会社  
三菱商事株式会社  
ミマスクリーンケア株式会社  
株式会社ヤマノビューティメイトグループ  
株式会社ロッテ  
株式会社渡辺プロダクション

(2020年6月30日現在)

# Vision

## ビジョン：

CARE は、貧困のない、すべての人々が尊厳をもって安心して暮らせる、希望に満ちた、寛容で公正な世界を目指します。

# Mission

## ミッション：

CARE は、人々の命を守り、貧困をなくし、公正な社会を創ることを使命とし、世界中でその実現に向けて取り組みます。

# Focus

## フォーカス：

CARE は、女性と女子を活動の中心にすえます。

貧困をなくすためには、女性と女子を含むすべての人々が平等な権利や機会を得る必要があるからです。

# Our Work

## ケア・インターナショナル ジャパンの活動：

ケア・インターナショナル ジャパンは、世界 100 ヶ国以上で人道支援活動を行う国際 NGO ケア・インターナショナルの一員です。私たちは、多様性と包摂性を尊重し、特にジェンダー平等と女性と女子のエンパワメントにフォーカスした開発支援活動に注力します。これにより、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に寄与します。

## ケア・インターナショナル ジャパンのあるべき姿：

私たちは、上記の活動を行う上で、以下の組織を目指します。

1. CARE 現地事務所とのパートナーシップのもと、より確実な事業成果を出せる組織
2. 私たちの活動が広く認知され、多くの共感と支援を得られる組織
3. 収支バランスのとれた持続性のある組織



**care**®

### ロゴについて：

互いにまっすぐ伸びていく手が形作る輪。  
グローバルな視点で地球規模の問題に力を合わせて立ち向かう、  
CAREの活動の本質をイメージするものです。それは、一体であるだけでなく、多様性を認めるものでもあります。様々な環境に生きる世界中の人々が、共通の目標のもとに一つになったときに生み出される大きなチカラ。CAREのロゴにはこのような意味が込められています。

公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン

〒171-0031 東京都豊島区目白2-2-1 目白カルチャービル5階 TEL:03-5950-1335 FAX:03-5950-1375  
Email:info@careintjp.org <http://www.careintjp.org>

※本書の一部または全部を無断で複写、転載引用することを強く禁じます。  
この年次報告書のデザイン・レイアウトは大盛印刷株式会社のご協力により、制作されています。  
また、同社のご協力により、低価格でのカラー印刷が実現しました。  
(2020年10月発行)